

～4月臨時会～

4月臨時会を4月9日に開催しました。市長から提出された議案は、一般会計補正予算（3億6,100万円）など3件の提案があり、いずれも原案を可決しました。

★主な補正予算内容

☆マイナンバーカード普及促進商品券事業 1億5,310万円

内容：非接触型のサービス利用が拡大される
マイナンバーカードの普及と大きく消費
費が落ち込む市内飲食店、小規模な小
売店等を支援するため商品券を配布

対象：令和3年6月30日時点で市内に住所
有し、マイナンバーカードを保有して
いる方又は令和3年6月30日までに
マイナンバーカードの交付申請を済ま
せた方

配布する商品券：「いなざわ飲食・商品エール券」
2,000円／人

使用期間：9月1日～令和4年2月28日

配布時期：8月中旬

☆新型コロナウイルス対策 障害者支援商品券事業 8,500万円

内容：ワクチン接種時の交通費などにも使用
できる商品券を配布し、大きく消費が
落ち込む市内飲食店、小規模な小売店
等を支援するため商品券を配布

対象：令和3年5月1日時点で市内に住所を
有し、身体障害者手帳、療育手帳及び
精神障害者保健福祉手帳を所持してい
る65歳未満の障害者

（昭和32年4月2日以降に生まれた方）

配布する商品券：「いなざわ飲食・商品エール券」
2,000円／人

使用期間：6月1日～令和4年2月28日

配布時期：5月下旬

☆新型コロナウイルス対策 高齢者支援商品券事業 1億330万円

内容：ワクチン接種時の交通費などにも使用
できる商品券を配布し、大きく消費が
落ち込む市内飲食店、小規模な小売店
等を支援するため商品券を配布

対象：令和3年5月1日時点で市内に住所を
有し、令和4年3月31日までに65歳
以上となる方

（昭和32年4月1日以前に生まれた方）

配布する商品券：「いなざわ飲食・商品エール券」
2,000円／人

使用期間：6月1日～令和4年2月28日

配布時期：5月下旬

☆新型コロナウイルス対策農業者応援金 2,000万円

対象：農地基本台帳上に記載がある法人を除
く市内農業者

※申請は同一世帯につき1人のみ

交付要件：令和元年と令和2年の税申告上の
農業収入を比較し、15万円以上減
少していること。また、市が必要
とする書類を提出できること

交 付 額：15万円／人

※30万以上減収した認定農業者
に限っては、30万円／人

受付期間：6月1日～6月30日

申請方法：稲沢市役所 農務課へ持参

そ の 他：予算の都合上、先着順での受付を行う

ご意見・ご要望をお待ちしています！

市政に関するご意見、ご質問がありましたら「星野事務所」
（TEL/FAX:0587-32-9905）までご連絡ください。

E-mail shunji@pastel.ocn.ne.jpでも受け付けています。
【プロフィール】

1975年愛知県稲沢市生まれ 46歳 稲沢市議会議員（五期）
議会活動：経済建設委員会委員、議会運営委員会委員
家族 妻と一男一女の四大家族



稲沢勝手に
応援団長
ほし☆のん

☆ほしのマガジン☆

NO.56

発行：星野しゅんじ後援会

〒492-8143 稲沢市駅前3丁目2-21

TEL/FAX 0587-32-9905 E-mail: shunji@pastel.ocn.ne.jp

ホームページ <https://shunji-hoshino.com/>



～ごあいさつ～

今年の春は、いつもより暖かく感じましたが、いかがお過ごしでしょうか。皆さまにおかれましては、新年度を迎え新しい生活に慣れてきたことと存じます。

新型コロナウイルス感染症が世界的に大流行して1年以上が経過し、重い
空気感が漂っています。特に、高齢者の自粛生活長期化による生活不活発を
基盤とする、心身機能の低下、いわゆる「コロナフレイル(虚弱)」ともいえる状
況が顕著になってきました。加えて、在宅勤務等が増え30代～40代もフレイ
ル予備軍として、注意が必要な状況です。

改めて正しくリスクを恐れつつ、生活不活発や人とのつながり等の社会性
の低下を予防していく必要があります。

ウィズコロナ・アフターコロナを見据えた地域でのつながり、結束力で市民
の皆さまと共に乗り越えていきます。

2月臨時会、3月定例議会、4月臨時会のご報告をさせていただきます。
ご意見、ご感想をいただけましたら幸いです。



稲沢市議会議員 星野 俊次

～2月臨時会～

2月臨時会を2月8日に開催しました。市長から提出された議案は、新型コロナウイルスワクチン接種事業に係る経費の一般会計補正予算(7億8,000万円)の提案があり、原案を可決しました。

☆高齢者のワクチン接種について

○接種券発送：高齢者分 令和3年4月22日（木）

○対象者：昭和32年4月1日以前に生まれた方

○高齢者施設の接種：5月6日頃から開始 施設での接種

○高齢者の新型コロナウイルスワクチン予防接種予約方法

・5月10日（月）：医療機関での予約開始

・5月14日（金）：web・コールセンターでの予約開始

※医療機関によって予約方法が異なります。

○高齢者の新型コロナウイルスワクチン予防接種開始

5月25日（火）：個別接種開始予定 ※医療機関毎に、接種日時が異なります。要予約です。

○その他

1) ファイザー社のワクチンの接種回数は、2回です。

2) 接種費用は、無料です。

3) 接種時には、必ず「接種券」と「予診票」（接種券と同封）と「本人確認ができるもの」を持参

○実施医療機関

☆集団接種会場： 稲沢市保健センター、保健センター祖父江支所

☆個別接種： 稲沢市医師会 46医療機関（接種券に同封）

※情報は現時点(4月下旬)のもので、今後の内容は、ホームページ、コールセンター等でご確認ください。

※高齢者以外の対象者については、現地点では未定です。

相談窓口

コールセンターフリーダイヤル

0120-54-2500

対応時間 日～金曜日（祝日を除く）



～ 3月定例議会～

3月定例議会は、3月8日から3月25日までの会期で開かれました。市長から提出された議案は、「令和3年度一般会計予算」など25件、報告1件、清水澄氏を副市長に選任するなど同意案5件、発議案1件をいずれも原案を可決・同意しました。

★令和3年度の主な新規（拡充）事業

☆総合体育館改修事業 4億8,000万円

内容：総合体育館のアリーナ天井落下防止、ガラス飛散防止、照明LED化等の改修及び空調設備の整備工事を実施



☆スマホ決済導入事業 59万円

内容：納税者が安心・安全に市税・料金の納付ができるようスマートフォンアプリ（LINEPay, PayPay, PayB）による納付サービスを導入



☆稲沢おでかけタクシー事業 2,480万円

内容：75歳以上の高齢者や障がい者などの外出支援事業である「稲沢おでかけタクシー」を本格実施
運行区間：「自宅」から「市内全域」として、市外として「勝幡駅北側タクシーロータリー」への接続可能。また、1ヶ所10分程度の一時立ち寄りが可能
運行時間：月曜日から土曜日の午前8時30分から午後5時まで
利用料金：タクシー運賃(迎車代含)の2分の1
予約方法：原則タクシー会社へ電話予約
※駅や市民病院などで待機タクシーがいる場合は、電話予約不要

☆学校運営協議会設置事業 256万

内容：学校、保護者、地域住民が連携して知恵を出し合い、学校運営に意見を反映する仕組みを全小中学校で構築



☆地域生活支援事業 8,204万円

○成年後見センターの開設
認知症、知的障がい、精神障がい等で判断能力が不十分なかたへの支援を行う
○地域生活支援拠点事業の開始
地域における障がい者相談支援の中核的役割を担う障害者基幹相談支援センターに、障がい者の緊急時対応の機能を持つ地域生活支援拠点事業を開始

☆小規模事業者活性化補助 3,000万円

内容：コロナ禍で打撃を受けた小規模事業者への継続的支援として、売上・利益改善の取り組みや感染症予防対策に対し補助金を交付
補助金額：事業経費の2分の1(上限15万円)

☆猫避妊手術費補助 130万

内容：野良猫の繁殖を抑え、近隣住民に対する被害等を未然に防止するため、避妊手術を要した費用の一部補助を実施
補助金額：避妊手術に要した費用の一部
不妊手術（メス） 1万円（上限額）
去勢手術（オス） 5千円（上限額）

その他予算関係

- ・自転車乗車用ヘルメット着用促進事業費補助 (132万円)
- ・保育園給食調理等業務委託 下津・子生和保育園 (3,626万円)
- ・国府宮駅周辺地区再開発推進事業 (600万円)
- ・小学校音楽室空調設備整備事業 (1億円)
- ・特別展「生誕120年記念 荻須高德展」の開催 (2,000万円)



～一般質問の内容～

3月15日に一般質問を行いました。主な発言内容は、下記の通りです。質問概要をまとめました。また、下記アドレスでもご覧いただけます。

<http://inazawa.gijiroku.com/voices/>

1. 施政方針について

- ①予算編成に対する考え方について
- ②デジタル化のビジョン、考え方について
- ③低炭素社会の実現に向けて

※3月定例議会の一般質問を右記QRコードから録画を見ることができます。



【質問趣旨】

- ①新型コロナウイルス感染症の影響で、税収が落ち込んだが、財政運営の工夫と課題点について
- ②新型コロナウイルス感染症の対応で、行政分野でのデジタル化の遅れが浮き彫りになったが、今後の展望について
- ③低炭素社会に向けての基本姿勢について

【稲沢市の考え】

- ①歳出削減に向けた取り組みとしては、消耗品費、修繕料、時間外勤務手当について、経常経費ベースで前年度から約2億円の削減、更に、備品について、前年度から約2億9,000万円の削減をした。今後は、自主財源の確保のため、まちの基盤づくりを推進し、新たな住居系市街地の形成など定住促進につなげる施策や、企業誘致の推進などの事業を着実に進めることが重要である。
- ②「AI・RPAの運用」、「テレワークの一部活用」「標準化システム導入に向けた方針の策定」、また次年度には「オンライン申請」の導入予定など、「自治体DX推進計画」で示された重点取組事項の一部をすでに事業化している。「稲沢市ICT化推進計画」が計画期間中ではあるが、計画の基本理念を踏まえつつ、次年度には計画内容の見直しを行いたい。
- ③第3次稲沢市環境基本計画で、低炭素社会を推進するため、再生可能エネルギーの利用促進、建築物の省エネ対策の促進、次世代自動車の普及に努めることとして取り組んでいる。2050年までに温室効果ガスの排出量と吸収量を同一にするカーボンニュートラルにするため、今まで以上に市民、事業者、市の協働体制で推進することが必要であると考えている。



2. 「新しい生活様式」における対策について

- ①自殺・引きこもり対策について
- ②子どもの視力について

【質問背景】

- ①「新しい生活様式」の影響による、自殺・引きこもりへの対策について
- ②生活環境の変化による、子どもの視力低下への対策について

【稲沢市の考え】

- ①令和2年度のコロナ禍では、国の調査結果で女性の自殺が増加傾向であったことを踏まえ、庁内各課と連携し、SNSなどを効果的に利用して自殺対策に取り組む。また、引きこもりを含むあらゆる福祉相談に対しては、福祉相談窓口がその対応をしている。更に、4月から福祉の拠点が整備され、ワンフロアの強みを活かし、他の機関とも連携強化をしていく。
- ②令和2年度において、小・中学生（稲沢市内）の視力1.0未満の割合が全国平均よりも高く、過去最高になった。更に、タブレット等を見る時間が増加し、目を酷使する状況は加速していくと思われ、学校では子どもへの指導だけでなく、保健委員会や眼科検診など、学校医や眼科があるので、指導内容について保健だより等で保護者に周知し、視力低下の防止のため情報共有に努めたい。また、3歳児検診において、機械の画面を見つめ近視や斜視などの屈折異常を見つけるフォトスクリーナーを用いた検査が各自治体で導入が進んでおり、弱視・斜視の見逃し防止に有効と考え、関係機関と協議し、導入を検討する。